

**静岡県から生まれた
日本初の更生保護制度**

明治20年頃の出来事です。当時、静岡監獄（現刑務所）に、あらゆる罪科を重ねた吾作（仮名）という囚人がいました。多くの看守が手を焼く問題受刑者でしたが、当時の副所長川村矯一郎の熱心な訓戒が功を奏し、出所時に「今後は道に外れるようなことは、誓っていました」と更生を誓い、出所しました。吾作が帰宅すると、庭木もそのままに茂っていました。家も昔のままでしたが、中に住む人は変わっていました。様子をみると父母はなく、妻は他人の妻となり、三人の子ともと暮らしていました。やむなく、村内の親戚を訪ねて一夜の宿を乞うと「おまえのような悪人を泊める訳にはいかない」と断られてしまいました。吾作は、警察署に行き、その袖にすがりましたが「放免になった者を手にかける訳にはいかない」といわれます。以前の彼なら、たちまち悪事に走ったはずですが、脳裏には、川村の訓戒が。吾作は、ついに川村に書き置きを残し、村外れの池に身を投じてしまいました。

川村は、書き置きを手に深いため息をつきました。事業家である金原明善に事態を話すと、金原は「名訓戒も人を殺すに至っては功徳とはいえない。改心して監獄を出た者を、社会の中で保護する方法を考えなく

てはならない。それを、静岡県に作るうではありませんか」と提唱しました。これが、日本で更生保護制度が生まれたきっかけです。

**更生保護を支える
保護司というボランティア**

法に基づき委嘱され、非常勤の国家公務員とされている保護司ですが、実質は、犯罪をした人や非行のある少年の立ち直りを地域で支えるボランティアです。

- ① 主な職務は、次に掲げるものです。
保護観察を受けている人と面接を行い指導や助言をすること
- ② 刑務所や少年院に入っている人の
帰住先の生活環境を調整すること
- ③ 犯罪を予防するために啓発活動を行うこと

現在、全国では、約5万人の保護司がいます。ここ島田市では、56人が活動しています（島田地区保護司会の担当保護区は、島田市および川根本町）。

保護司は、現に仕事をしている人、定年退職をした人、自営業の人や主婦などがその知識と経験を生かし活動しています。

**我が子のように接する
保護司**

保護司は、保護観察の対象者と月2回の面接を行い、保護観

**立ち直りを支えるのは
家族と地域の温かさ**

地域社会の一人ひとりが、手と手を結び、心と心を通わせる更生保護のネットワークは、皆さんの温かいまなざしから始まります。更生保護は、犯罪をした人や非行のある少年が自立し改善更生するお手伝いです。犯罪や非行のない誰もが暮らしやすい社会を目指しましょう。

☎福祉課 36-7158

**地域に根差す
更生保護の協体制**

地域には、保護司のほかにも、更生保護の活動をしている団体があります。更生保護女性会は、更生保護施設への訪問など、母親のような温かさで見守ります。BBS会（Big Brothers and Sisters movement）は、兄や姉のようにレクリエーション活動など同じ目線で接しながら、非行防止活動を行います。協力雇用主会は、対象者の前歴にかかわらず、積極的に雇用し更生を援助します。こうして、多くの人の手で、立ち直りを支えることで、犯罪のないまちがつけられます。

こんな活動もしています

「社会を明るくする運動」

保護司会のほか、更生保護女性会やBBS会、協力雇用主会が協力して行っている運動です。7月は、この運動の強調月間です。シンボルマークの「ひまわり」のたすきをかけ、街頭キャンペーンを行っています。



街頭キャンペーン（川根温泉）

「学校や地域との連携」

毎年、小中学校との連絡会を開き、非行を未然に防ぐ活動を行っています。また、地域における犯罪の抑止や非行の未然防止などを目的に、防犯パトロールを行う自治会や団体の活動に参加しています。**「第59回静岡県更生保護大会」**とき/11月13日(火)午後0時30分～3時10分
ところ/プラザおおるり



中学校での講演会



広報しまだ

Shimada

2012
10
vol.172

目次 CONTENTS

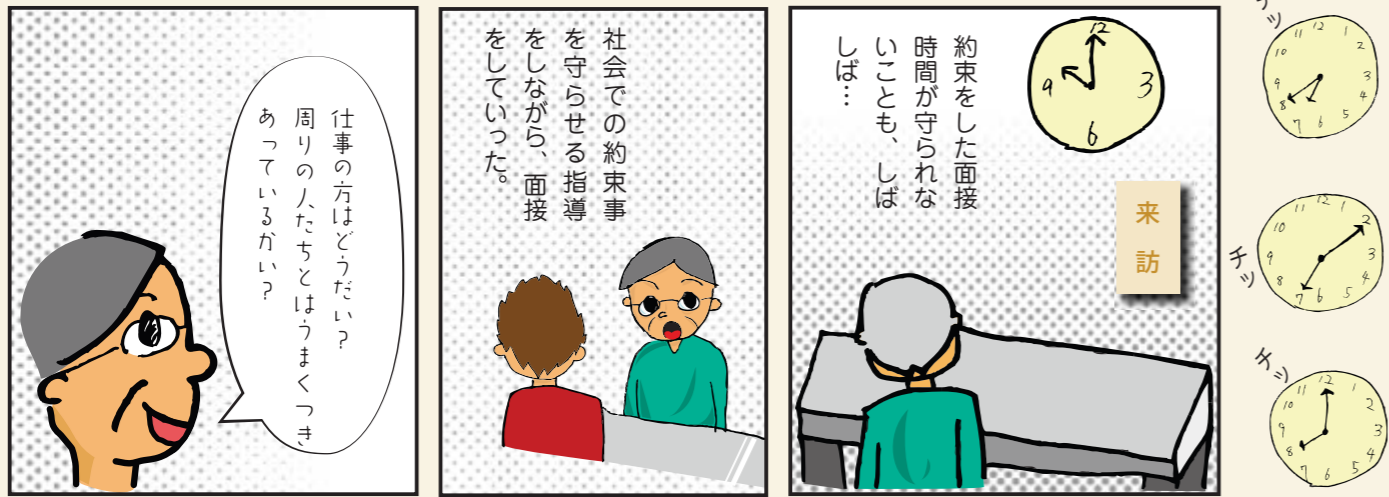
- 2 特集：更生保護
- 6 第4回しまだ大井川マラソン in リバティ
- 8 市の財政は健全です
- 10 市政あらかると：大井川「平成の大改修」／処理灰の放射能濃度などの測定結果／山田町新町長来島など
- 18 まちの話だい
- 20 しまだ情報：国保保険証の更新／がん検診／特定健診／国保総合健診／市議会報告会／市営住宅入居者募集／島田市民文化祭など
- 21 図書館だより
- 22 ぐらしのシグナル
- 23 スポーツ INFO
- 24 けんこうナビ(11月)
- 28 便利帳／彩りもう一品
- 30 掲示板／みんなのひろば
- 32 しまだ人：野木鋭也さん

表紙 COVER STORY

約30種類の日本髪を結った72人の「鬻娘」が、そろいの浴衣姿で踊りを披露しました。



立ち直りを支えるのは 家族と地域の温かさ



何年か経ったある日…

保護観察期間終了

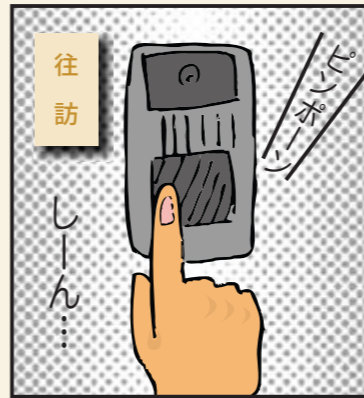
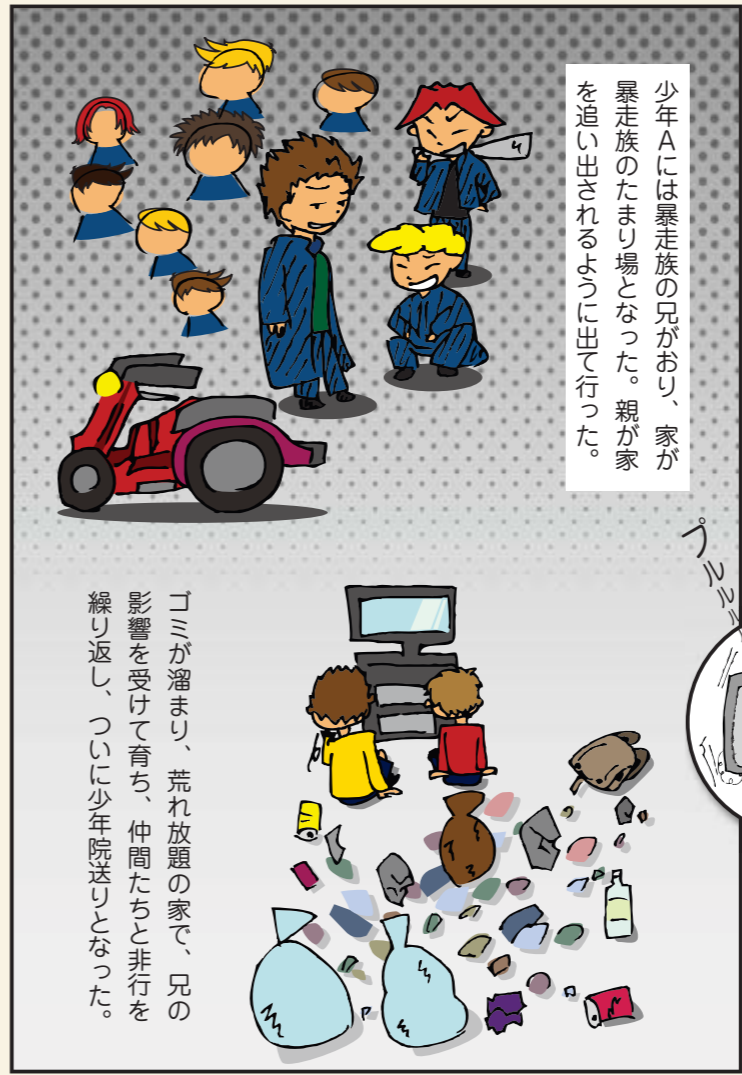
保護観察期間が終了すると、保護司から連絡することはない。対象者のことが気になっても、保護司が見に行くことはない。



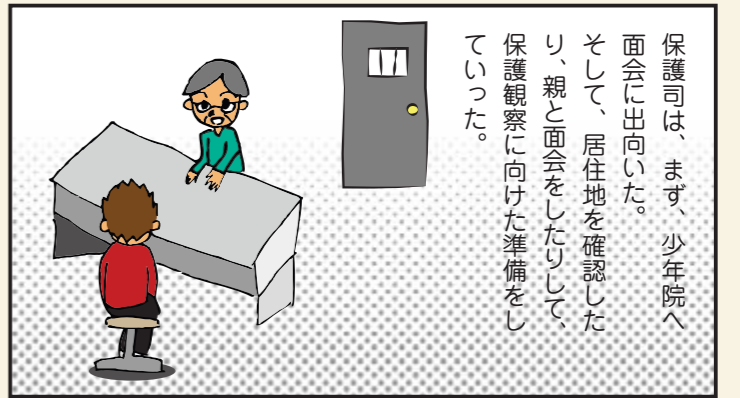
また今度、遊びにおいで

少年Aが更生するまで

犯罪や非行をした人は怖い…。しかし、彼らが立ち直るには、一人の人間として尊重し、真剣に向き合う皆さんの温かい心と言葉、行動が必要です。それが、犯罪や非行のないまちへの第一歩なのです。



そして、保護観察がスタート。期間中は、月2回のペースで来訪、往訪をして面接をするのだが…



私もあなたに嘘をつかないから、あなたも私に嘘をつかないで

島田地区保護司会 副会長 松田 巖さん



右の表題は、保護観察をするときに、私が最初に対象者に話す言葉です。この約束をして、対象者と向き合います。

対象者は、就業する場合にも、その悩みは深刻です。ハローワークに行っても、刑務所や少年院に入所していたことを聞かれる場合があるので、なかなか自ら就職活動をする事ができないのです（ハローワークには専門のケースワーカーがいます）。

また、就業して同僚ができて、過去のことを聞かれる場合もあります。どう答えようかと相談されたこともありました。私が受け持った対象者が、元気に仕事をして、同僚と良い友達付き合いをしていると聞くと、とてもうれしいです。

理解と協力があったこそ 犯罪のない社会へ

島田地区保護司会 会長 飯塚 亘さん

犯罪や非行をした人の多くは、些細なことであきらめたり、なげやりになったりする人も多く、気軽に相手をする事はできません。

また、信頼関係を築いていくことが大切と分かっているにもかかわらず、容易なことではありません。

それに「犯罪や非行をした人は怖い」という印象があります。保護司の活動は、家族と近隣住民の理解と協力があったこそ、成り立ちます。

本人を支えるのは保護司の大切な仕事ですが、皆さんが温かく、正面から向き合うことで、多くの人が立ち直っていくのです。同時に、その温もりは、非行の芽も摘んでいきます。一緒に、犯罪のないまちを築いていきましょう。

